

◎ 美術館情報

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの美術館等で、臨時休館やイベントの休止、展覧会の中止や開催期間の変更、および入館方法等が変更になっています。

状況が日々変動しているため、各施設の公式ホームページなどで最新の情報をご確認ください。

【各施設では、下記の特別展・企画展等のほか、常設展を開催しております。】

1. 岐阜県現代陶芸美術館【岐阜・多治見】(http://www.cpm-gifu.jp/museum/02.exhibition/02_1.exhibition.html)

2021年1月5日(火)～3月14日(日)

企画展： アンドリュー・ワイエスと丸沼芸術の森コレクション展
本展では「丸沼芸術の森」コレクションより、若手作家たちの創作の養分とするべく収集されたアンドリュー・ワイエスの水彩、素描を中心とする絵画コレクション、設立者の芸術志向のきっかけとなった陶芸コレクションの中心を成す加藤孝造をはじめとする現代の陶芸作品、芸術の森で制作活動の支援を受けた村上隆や入江明日香ら気鋭の作家たちの現代美術を一堂に展示します。



2. サンリツ服部美術館【長野・諏訪】

(<http://www.sunritz-hattori-museum.or.jp/schedule/main.html>)

2021年1月2日(土)～4月11日(日)

企画展： 桃山陶器 日本のやきもの革命

世界有数のやきもの文化を誇る日本。その歴史は1万2000年ともいわれています。本展は日本陶磁史のなかで最も大きな変革期を迎えた桃山時代のやきものを展示し、今もなお、多くの人々を魅了し続ける桃山時代の個性豊かなやきもの世界を紹介します。



3. 静岡市立芹沢銈介美術館【静岡・静岡】(<https://www.seribi.jp/exhibition.html>)

2020年12月9日(水)～2021年3月21日(日)

企画展： 日本のかたちー芹沢銈介が集めた日本工芸ー

本展は収集家としても知られる芹沢銈介の4,500点におよぶ工芸品のコレクションの中から、日本工芸を特集します。全国各地の小絵馬や郷土玩具、やきもの、漆器、木工、家具、また染織品からはアイヌの厚司、東北の刺子着、沖縄の紅型までが勢ぞろい。独自の目で集めた日本工芸250点を展示します。



4. 公益財団法人岡田文化財団パラミタミュージアム【三重・三重郡】

(https://www.paramitamuseum.com/plan/next_exhibition2.html)

2021年2月5日(金)～3月28日(日)

企画展： 女流陶芸家の草分け 辻輝子展

辻輝子は1920年(大正9)東京・日本橋に生まれ、女流陶芸家の草分けとして活躍。また若き日には浅香金四郎に日本画を学び、北大路魯山人とも交流を持っていました。その身近な花や虫など小さな生命に慈愛の目をそそぐ繊細な表現は国内外で高い評価を受けています。これまで当ミュージアムでは茶碗、香



合などの茶道具から陶製アクセサリーまで400点に及ぶ辻輝子の作品を収蔵し、その収蔵作品数は国内随一の規模を誇っています。今回は上皇后陛下美智子さまよりご寄贈頂いた作品も展示します。